

八王子市小中一貫教育の基本方針(案)に関する パブリックコメントの概要と教育委員会の考え方について

八王子市小中一貫教育の基本方針(案)について、市民の皆さんのご意見を6月18日から7月18日まで募集いたしました。
その結果、17名(39件)の方からご意見をいただきました。ありがとうございました。
以下、いただいたご意見の概要と教育委員会の考え方をお知らせいたします。

ご意見の主な分類ごとの件数

1	小中一貫教育に関する意見	14件
2	指導体制に関する意見	2件
3	学校運営への参画に関する意見	1件
4	一貫校に関する意見	8件
5	一貫校に関する意見(みなみ野君田小との関連)	4件
6	学校選択制との関連についての意見	4件
7	施設整備との関連についての意見	4件
8	勤務条件との関連についての意見	1件
9	その他の意見	1件

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
1 小中一貫教育に関する意見		
1	・9年間を通して、多くの体験や活動をし、今までにない豊かな人間性と多くの知識を身に付けていけたら幸いです。 ・子供にとって良い9年間になるよう願っております。	・小中一貫教育に関する基本方針は、具体的な実施方策や中長期的な実施計画を構築していく上での基本的な考え方を示したものです。 小中一貫教育については、平成18年度よりモデル校による研究を進めて参りました。 今後、モデル校の実践をもとに効果や課題を明らかにしながら、子供たちに確かな学力と豊かな社会性・人間性等が身に付くよう教育内容の充実及び制度整備に努めて参ります。 ・小・中学校9年間を見通した上で、それぞれの発達段階とその特性に応じた指導を適時行うことが大切であると考えています。
2	・小中一貫教育は良いと思います。	
3	・具体的なビジョン、方策が示されていない。流行を追いかける、実態に合わない計画は中止するべきである。	
4	・各学区によって大きく異なる事情を持つ小・中学校を一齐に一貫教育に移行するのは、あまりに拙速過ぎるので、速やかに撤回するべきである。 ・このまま強行すれば、八王子市から優秀な教員は全て他地区へ転出してしまうだろうし、他地区から八王子市に転入することも遠慮されてしまい、結果として八王子市に住む子供達により良い教育を提供できない事態に陥る事を危惧する。	
5	・小中一貫教育のデメリットも考える必要がある。中学に入学することで、人間関係・生活・学習の再スタートが可能であったが、一貫になれば、固定化する。 ・本当に社会や保護者のニーズが高まっているか疑問。 ・小1～小4を初等、小5～中1を中等、中2～高1を上級とし、高2、高3は進路別編成にするのがふさわしいのでは。	
6	・小学校と中学校では、発達段階の違いがありすぎて、取り組むにも指導するにも、難しい。	
7	・八王子市の目指す小中一貫教育については、基本方針(案)に目を通すことでイメージが見えてきました。	
8	・理念はよいと思いますが、その理念を教育委員会 - 教員 - PTA - (生徒)に共有でき、それを具現化できるかどうかにか成否がかかっていると思います。「小中一貫教育」の成功に協力していきたいと思います。	

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
9	・日本の良いところ、歴史等を一貫して教育する必要がある。	・本市の小中一貫教育では、「知育」「徳育」「体育」「食育」の4分野を基本に作成する指導資料を活用し、全校で共通に取り組む学習内容と、小・中学校で実態に応じて重点的に取り組む学習内容があり、双方の充実を図ります。
10	・「基本方針(案)」について一切のデメリットの記載がありません。 理想論の羅列だけではどの程度の議論の末、提示されているのかがまったく不明です。 また、理想論だけで実行したとしても、物事うまくいくことはありません。	
11	・小中一貫教育の実施によって、一人一人の個性や能力を伸ばせるかどうか疑問ですが、一人一人の個性や能力を伸ばすということ自体は大事なことです。 ・小中一貫教育のなかでということだけでなく、具体的な方策を出してほしいと思います。というのは、今の八王子市の学校教育のなかでは、一人一人の個性や能力の伸長を目指しているという、具体的な姿が見えません。 ・基本方針のトップにするからには、その具体的な姿を見せてほしいと思います。	
12	・小・中学校の児童・生徒間の交流を促進するということは大事なことです。今まで十分な交流が図られていなかっただけに、今後そのことに力を注いでいくことは歓迎します。 ・ただし、それを小中一貫教育の実施で、となると、話は別になります。小中一貫教育を実施しなくても、交流する機会はいっぱいつくれるからです。 ・行政として大事なことは、その時間を保障してやることだと思います。	
13	・だいじなことだが、学校現場の今の状況では、小・中学校の教員が相互に連携・協力していくために、話し合いを持つ時間はとてもとれません。 標準授業時間数の上乘せという教育委員会の強い指導のもとで、毎日授業時程がびっしりと組み込まれていて、話し合いの時間を生み出せない状況になっているからです。 また、子どもを帰した後は、「説明責任」ということで、報告書類をいっぱい書かなければならないからです。 ・小・中学校の教員の相互の連携、協力をうたうならば、小中一貫教育の実施を言う前に、子どもと向き合う時間さえ取りにくい、今の教師の忙しさを取り除くべきです。	

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
14	・小中一貫教育を実施していくと、八王子市の小・中学校の教育が抱えている問題点が解消するという言い方になっていきます。わたしには、とてもそうとは思えません。 ・「小・中学校教員間の指導の途切れの問題」があったとすれば、小・中学校の教員間で定期的に話し合いをしていけばすむ問題です。教育委員会がその問題を把握しているのなら、話し合いの場を設定して、その指導の途切れの問題を埋めるべきです。 それをしないで、教育現場に責任があるような問題提起の仕方は納得できません。 ・「学習意欲の低下や家庭での学習習慣の未定着」この問題で一番責任を負わなければならないのは教育委員会です。 ・学力テスト体制の下で、暗記を強いられ、ドリル的な学習の連続では、子どもたちに、「あれを調べてみよう」「これをわかるためにどんな勉強をしたらいいか」といった意欲はわきにくなります。この体制をそのままに、小中一貫教育をはじめても、子供達の学習意欲の回復は見込めません。 ・「つまづきをかかえたままでの進級・進学」 教育委員会が授業計画の週案の提出を強制して、決められた授業時数で指導するように強要してきています。教師側としては、子どもの理解が不十分なので、今少し時間をかけたいと思っても、決められた授業時数があるので、先に進まざるをえません。 ・東京都だけが30人学級を実施していない問題があります。多人数のなかで、決められた時間内に、全員理解させろ、ということ自体無理な話です。 ・「社会環境の急激な変化等による人とのかかわりの希薄化」 教育委員会の責任がないとは言いきれません。 学力テスト体制の下で、子どもたちに競争原理を押し付けてきているからです。 また、教育委員会は、授業時数の確保ということを口やかましく言ってきています。このため、教師は、学級指導の時間を確保するのに苦労しています。また、子どもたちが主体的に参加できる学校行事の時間も減らさなければならない状況です。 競争原理が前面に出て、子どもの主体的活動が抑えられている現状では、人との関わりが希薄化するのは当然です。 ・「中学校で増える不登校」 教育委員会の施策の結果によるものです。学習意欲の低下、つまづきをかかえたままの進級、人とのかかわりの希薄化が、中学校で増える不登校につながってきています。 ・教師が一人ひとりの子の悩みに向き合う時間が必要なのに、その時間が与えられていません。	・現在、子供たちが抱える様々な課題は、学校だけで解決できるものではなく、家庭・地域と一体となって取り組む必要があると認識しています。 ・今までも小・中学校間では、連携のための話し合いがされていました。今後は、小中一貫教育を推進することにより、9年間を見通した指導内容、指導方法や児童・生徒理解、交流授業や合同行事などについての話し合いが、より一層活性化されることが期待できます。 ・子供たちの学習意欲の向上を図るため、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な自ら考え判断し行動できる力をはぐくむ学習活動を充実していきます。

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
2 指導体制に関する意見		
15	・小学校中学年から教科担任制にするなどのほうが、他区市に先駆けて大きな教育効果をあげるものと確信する。	・学校で小学校からの教科担任制を取り入れる場合、学校の規模や教員組織等の実態を踏まえ、どの教科で(一部の教科での実施も可能)、どの学年で実施するかを各学校で検討します。その際、学級担任制及び教科担任制のそれぞれの効果を考慮して判断することが大切であると考えます。
16	・「小学校からの教科担任制による指導」 学校にこれなくなってしまう子どものことを本気で考えるなら、他にしなければならない問題がいっぱいあります。 ・小学校高学年の段階から教科担任制をとるということによって、学級担任制のよさを損なうことになります。 ・総合的な学習は、教科学習とのつながりがだいじになります。学級担任ならば、いつ、どこでのその学習をしたかがわかり、子どもたちに、助言ができます。 ・学級会活動、学校行事への取り組みも、学級担任制で長時間子どもと顔を合わせている担任の方が、子どもの性格、家庭の事情、友だちの関係等をつかんでいて、それにもとづいた活動への助言ができやすくなります。 ・何よりもだいじなことは、日々の学習活動が生活につながっているという点です。日常的に子どもと顔を合わせている時間が長い学級担任制の方が、それは把握しやすくなります。 ・小学校の学級担任制は維持していくべきです。安易に変えるべきではないと思います。	
3 学校運営への参画に関する意見		
17	・保護者や地域の方々が学校運営に参加するのは魅力 ・子供の情報、様子が必要以上に学校外へ出ないか不安を感じます。	・学校の教育活動を公開し、学校・家庭・地域が協働して子供を育てていくことが大切です。ただし、個人情報については、各学校で配慮していく必要があると考えます。

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
4 一貫校に関する意見		
18	・人事、カリキュラム、学校選択制との関連など課題が多い。	・小中一貫教育については、モデル校において、平成18年度から研究を行って参りました。
19	・児童・生徒の一貫校での学校生活のメリット・デメリットは十分検証されているのか。 ・人間関係のトラブルが起こった時、9年間も同じ環境に置かれる事の苦痛について考えているのか。 ・同じ人間だけで9年間生活することが本当にいいことなのか。	今年度から2年かけて、小中一貫教育モデル校において研究成果をまとめていく予定です。 特色ある学校づくりの一つとしての小中一貫校の長所・短所を明らかにしながら、よりよい教育環境の整備に努めて参ります。
20	・小学校と中学校の教員の考え方のちがいが現在では大きすぎる。 ・八王子市がどのような方向で一貫校を考えているのかがはっきりと伝わって来ていない。	・八王子市では、学校選択制を導入しているため、小中一貫校でも他の学校を選択することが可能です。
21	・一貫というには、先生同士の連携が未だ弱いように思えるので、もっと情報の共有、同時発信など課題があると思われる。また、そういった業務が増えることで、本来の教育が手薄になるのは困る。 ・体制作り、増員等も含め、更なる検討を希望します。	・小・中学校の指導の途切れを小さくし、小・中学校の教員がこれまで以上に連携・協力を行えるように、小中一貫校としての制度整備を行います。
22	・小中一貫の教育の機会を与えられたみなみ野小中で、段階毎に生命の大切さを教えたり、考えたりできるプログラムがあると素晴らしいと思います。 ・ぜひ、地域や専門職の方々とまきこんで、性教育に関する教育プログラムを考えていただけたらと考えております。	・小中一貫校の教育内容、指導体制等は、基本方針に基づいて作成する「学校の実施方策」において具体的に作成していきます。
23	・今の学校教育の改善すべき内容のほとんどは、教育委員会の今までの教育施策の問題です。 ・これらの問題が解決するような幻想をふりまいての小中一貫校の実施には反対です。	・八王子市では、生きる力をはぐくむために、効果が期待できる方法の一つとして、小中一貫教育を行います。
24	・みなみ野と言う町が町開きをしたのが10年前。同時にみなみ野小学校とみなみ野中学校が開校しましたが、小中一貫校にすることで、それぞれの学校名がなくなり、同時に校歌も変わってしまいます。 わずか10年に母校を失うことになる卒業生の気持ちはどうなるのでしょうか。	・小・中学校それぞれのこれまでの学校名と校歌はなくなりません。小中一貫校としての名称、校歌は別に作成します。
25	・教師は都の職員です。その都が現在、中高一貫校を始めます。都教育委員会との話し合いは行われているのでしょうか。 小学校は児童、中学校／高校は生徒 このように呼び分けている理由を真剣に考えるべきです。	・市教委としては、義務教育における円滑な接続を図るために小中一貫教育を推進しています。

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
5 一貫校に関する意見・(みなみ野君田小との関連)		
26	・「みなみ野君田小」と「みなみ野学園(仮称)」の関係に不安があります。	・みなみ野君田小学校は、みなみ野小・中学校と、学習指導内容の重点的な取り組みや指導方法の工夫等、距離が離れていてもできることに取り組んでいきます。また、みなみ野君田小学校独自に取り組んでいる特色ある教育活動も進めていきます。今後、3校での研究及び検証をさらに深め、具体的には、学校の実施方策に盛り込んでいく予定です。
27	・みなみ野君田小のように、みなみ野小とは同じ中学校区でありながら、立地条件による差が生まれる場合はどうするか。運動会、英語の出前授業など、すでに差がある。	
28	・みなみ野中・小が一貫校として開校するにあたり、同じ学区内のみなみ野君田小が取りこぼされた印象が否めません。現在でも、みなみ野小と君田小とでは、みなみ野中との連携には明らかな差があります。その差が今以上に拡大されるのは避けられないのでしょうか...。 ・是非、みなみ野君田小も、来年の小中一貫開校時より、「みなみ野学園第2」のような、明確な位置づけをし、同じスタートを切ってほしいです。	
29	・学区から考えるとみなみ野中にはみなみ野小学校だけではなく君田小学校の児童もみなみ野中学校に入学いたします。 このことから、みなみ野小学校のみなみ野中学校と小中一貫校にすることは、児童間に不公平感を与え、また混乱を与えます。	

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
6 学校選択制との関連についての意見		
30	・みなみ野中は他校からの転入生や学区外からの入学が多い地域と考えますが、小中一貫校になった場合の中学選択について疑問があります。 ・中高一貫校に進学しようと思った場合、塾に行くことになるのでしょうか。 ・習熟度別学習を進めていき、中学選択にあたり、学校・生徒による格差(学力)に関しては、問題なく今までのように受け入れてくれるということなのでしょうか。	・小中一貫教育では、どの学校でも公立学校の教育の目的を達成するために学習指導要領に基づいて9年間を見通した指導を行い、児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着や豊かな社会性・人間性の育成を図ります。また、現在、各学校で行っている特色ある学校づくりも推進していきます。
31	・小学校入学段階での学校選択はどうなるのか。 ・中学校の学校選択制との整合性はどうするのか。 ・中学校段階で別の一貫校を選択した場合のカリキュラムの連続性は確保されるのか。	・小中一貫教育を実施しても、小学校6年間、中学校3年間で学ぶ学習内容は、学習指導要領に基づいて指導するため、別の中学校を選択することも可能です。
32	・中学校の学校自由選択にしておきながら、小1からの一貫教育にするというのは、矛盾していると思われる。	・各学校では、現在でもそれぞれが特色ある教育活動を実施しております。小中一貫教育を実施しても、同様に重点的に指導する内容や小中一貫教育の日の取り組み等の特色ある教育活動については各学校によって異なりますが、6・3制のもと学習指導要領に基づいた基本的な指導は全校で行います。従って、学校選択を行う上で変わりはありません。
33	・小中一貫教育の理念はわかりますが、中学から入学したいと考えている人達にも門戸を開いてほしいと思います。公立なのに住居地域によって受けたい教育を受けられないのは大変矛盾を感じます。	

No	ご意見の概要	教育委員会の考え方
7 施設整備との関連についての意見		
34	・建物など教育環境面で今後の見通しがわからない保護者たちは、なぜ、耐震工事が早急に進まないのか、子どもたちの安全は、命はどうなってしまうのかとても不安に思っています。 ・六小・三中は今後どのような発展をとげるのか、長い目での具体的な計画が分からないので、是非、市は今後建物及びそれを取り巻く環境についてどのような方針をもっているのか、具体的に学校、地域、保護者に早急に説明していただきたいです。 (将来、小中を同一校舎とした建て直しがあるのか、または、別々の建物のままなのか、フェンスを取ってひとつの敷地にするのか。それゆえ、耐震工事は現在このような状況になっているなどです。) ・教育環境の具体的な目安がつけは、基本方針3(3)にもある各学校や地域の特色を生かした小中一貫教育の内容も変わってくると思います。	・今後、基本方針に基づいて「八王子市立小中一貫校の開設に関する実施方策」及び中・長期的な実施計画を作成し、施設整備についても、今後5年間を見通して検討して参ります。 ・小中一貫校開設にかかわる費用については、現在積算中です。
35	・施設整備に対する予算措置を長期的見通しに立って講じているのか。	
36	・計画を進めていく上で、かなりの無理が考えられる。第一に施設の事。 ・現在でも予算を切られている現状で新たな事に予算が出るのかどうか不安。	
37	・八王子市小中一貫教育をみなみ野小中で行った場合、新たな費用はどの程度かかるのでしょうか。	
8 勤務条件との関連についての意見		
38	・教員の勤務の態様について、無理の無い形で実施できる見通しが有るのか。	・各学校で構想する具体案に基づき個別に対応することになります。
9 その他の意見		
39	・教師の資質を高められるような指導、研修をお願いしたい。	・小中一貫教育に限らず、今後とも教員の資質向上に資する研修を充実していきます。